



平成29年4月18日  
第415号  
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

## 当たり前のことを当たり前に行える子に！

校長 高橋 祐二

真新しいランドセルをかついだ98名の新入生を迎え、500名の児童で平成29年度の教育活動がスタートしました。桜のつぼみが膨らみ開花を迎えるように、入学、進級した子どもたち、そして、教職員も希望に満ちた春を迎えています。

保護者、地域の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動に温かなご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、4月6日の始業式で、子どもたちに次のような話をしました。

みなさん、進級おめでとう。今日から、平成29年度の学校生活が始まります。みなさんが、けがや事故がなく、健康に過ごせる一年であることを願っています。

さて、みなさんは、一年のスタートを迎えるにあたって、どんなことをがんばろうと目標を持ちましたか？みなさんの目標が達成されるように、先生方も一生懸命、みなさんを応援していきたいと思います。

私は、今日、1年のスタートを迎えるにあたって、みなさんに1年後、こんなふうになって欲しいなという願いがあります。それは、卒業式でのみなさんの姿です。3月24日に行われた昨年度の卒業式。みなさんも、強く印象に残っていると思います。式での態度、呼び掛けの声、そして、卒業生、在校生の歌。

私は、これまで、たくさんの学校の卒業式に参加しましたが、心から東豊小学校の卒業式に感動しました。きっと、感動したのは、みなさんも先生方も、卒業生のお家の方々もそして、来賓の方々も同様だと思います。本当に、感動的な素晴らしい卒業式だったと思います。

そこで、是非、みなさんには、来年の3月23日の卒業式では、昨年度の卒業式に負けない姿を期待しています。

**全校のみなさんが、卒業式に参加し、式での態度、呼びかけや歌も感動を与えることのできる卒業式にすることをゴールとして目標にしていきましょう。**

でも、そんな卒業式にするために、どんなことをしていけばよいのでしょうか？考えてみてください。

それは、**当たり前のことを当たり前に行える東豊小学校の小学生でなくてはなりません。**

今、しっかり話を聞いているように「人の話をしっかり聞ける。」「毎日の授業で、先生や友達の話の聞いたり意見を述べたりして真剣に取り組む。」「あいさつを、自分からしっかりと行う。」「そうじをしっかりと行う。」など。

日々の当たり前のことを当たり前に行える人であることが大事です。一日、一日の学校生活を充実させて、みんなで感動を与える卒業式をめざしましょう。

事を成すには、「目標とする姿」「そのための術」が明確であることが必要です。今年度も、子どもたちのために「チーム東豊」を合言葉に気持ちを一つにし、全職員で教育活動に取り組んで行く所存です。

毎朝、「おはようございます」の元気な子どもたちの声に、パワーをもらっています。